

令和8年度

津山市の学校給食



津山市食育推進キャラクター
「しよくたん」

津山市教育委員会

目 次

第 1 . 学校給食の目的	1
1 . 学校給食の目標	1
2 . 食に関する指導の目標	1
第 2 . 学校給食の運営と組織	2
1 . 学校給食の運営	2
2 . 津山市学校給食会について	2
3 . 学校給食の実施状況	3
(1) 学校給食施設の概要	3
(2) 受配校の変遷	3
(3) 食数の変遷	4
(4) 献立作成	4
(5) 学校給食摂取基準	5
(6) 地産地消推進	5
(7) 食物アレルギー対応	6
(8) 学校等における食育の指導	6
(9) 衛生管理の徹底	6
(10) 学校給食残食減少の取組	7
(11) 調理業務委託	7
(12) 配送業務委託	7
4 . 学校給食の経費	8

第 1. 学校給食の目的

近年、児童生徒の食生活は、偏った栄養摂取や朝食の欠食に代表されるような食習慣の乱れ、肥満や過度のやせ傾向等健康面での問題等が指摘されています。

成長期にある子どもにとって、健全な食生活は健康な心身を育むために欠かせないものであると同時に、将来の食習慣の形成に大きな影響を及ぼすものであり、極めて重要です。

学校給食は、児童生徒に栄養のバランスのとれた食事を提供することにより、健康の増進、体位の向上を図ることに加え、食に関する指導を効果的に進めるための生きた教材として、児童生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要な役割を担っています。

また、学校給食に地場産物を活用したり、郷土料理や行事食を提供することで、地域の食文化や伝統に対する理解と関心を深めるなどの教育効果が期待できます。

1. 学校給食の目標(学校給食法 第二条)

- ①適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること。
- ②日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、及び望ましい食習慣を養うこと。
- ③学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと。
- ④食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- ⑤食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養うこと。
- ⑥我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること。
- ⑦食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導くこと。

2. 食に関する指導の目標(食に関する指導の手引き-第二次改訂-文部科学省 平成31年3月)

学校教育活動全体を通して、学校における食育の推進を図り、食に関わる資質・能力を次のおり育成することを目指します。

(知識・技能)

食事の重要性や栄養バランス、食文化等についての理解を図り、健康で健全な食生活に関する知識や技能を身に付けるようにする。

(思考力・判断力・表現力等)

食生活や食の選択について、正しい知識・情報に基づき、自ら管理したり判断したりできる能力を養う。

(学びに向かう力・人間性等)

主体的に、自他の健康な食生活を実現しようとし、食や食文化、食料の生産等に関わる人々に対して感謝する心を育み、食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を養う。

第2. 学校給食の運営と組織

1. 学校給食の運営

- 昭和22年頃開始されたミルク給食は、補食給食を経て昭和32年頃より完全給食に移行された。当時は各学校で献立を作成し、物資の購入を行っていた。
- 昭和39年、事務の簡素化、学級担任の教育専念、保護者負担の軽減等の必要から、津山市学校給食連合会を組織し、共同献立・共同購入事務を開始した。
- 情勢の推移に伴い、当初の状態とは運営内容も異なり、昭和60年4月より一般物資の共同購入事務を(財)津山市都市整備公社に委託し実施している。

2. 津山市学校給食会について

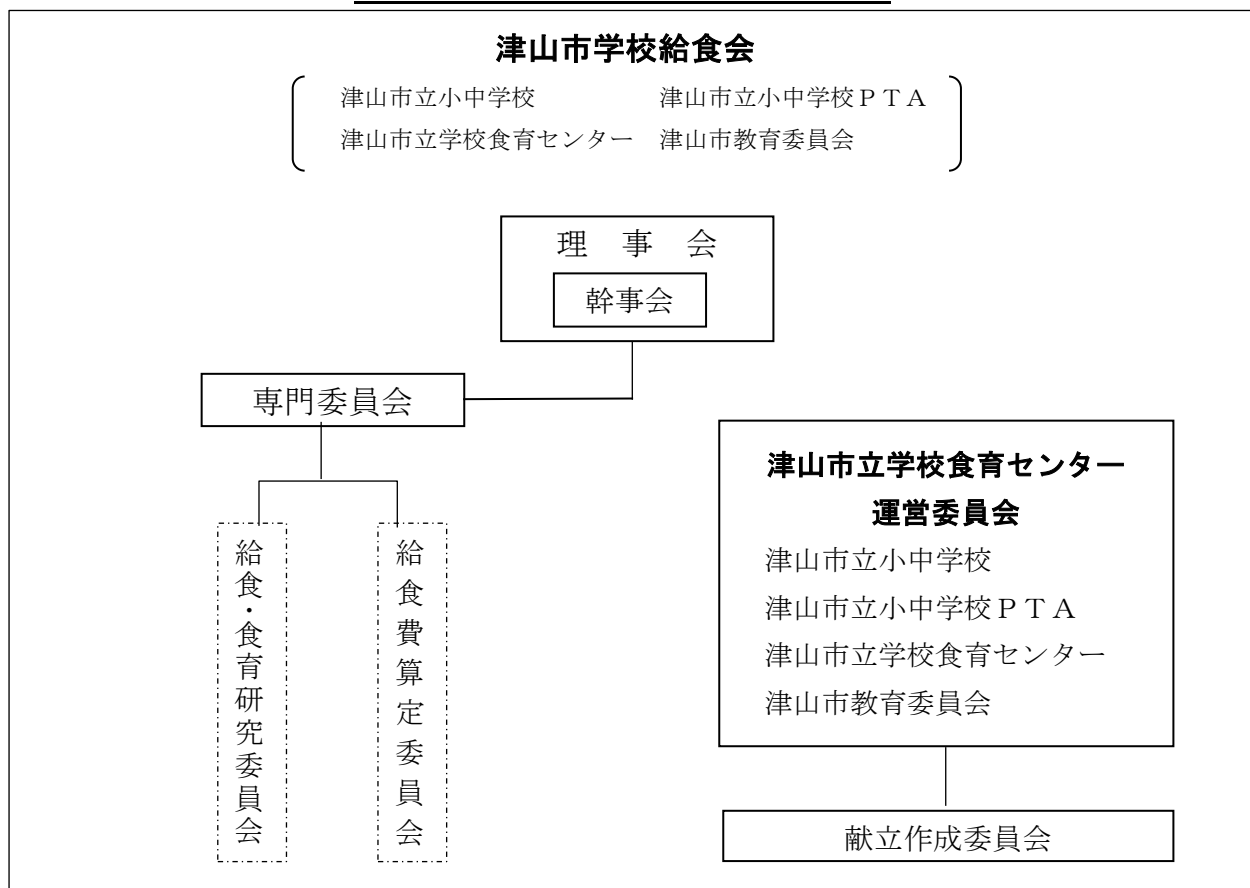
学校給食の健全な発展と学校給食を活用した食育の推進を図ることを目的に津山市立小・中学校、小・中学校 PTA、津山市立戸島学校食育センター・草加部学校食育センター及び津山市教育委員会をもって組織している。

会長 1名、副会長 5名、理事 約80名、書記 若干名、会計 1名、監事 2名

■事業

- ①学校給食の普及と振興
- ②学校給食物資の調達
- ③学校給食及び食育に関する研修
- ④その他本会の目的に必要な事項

津山市学校給食会組織図



3. 学校給食の実施状況

(1) 学校給食施設の概要

R7.4.1 現在

名 称	津山市立戸島学校食育センター	津山市立草加部学校食育センター
所 在 地	津山市戸島 921-6	津山市草加部 1466-1
建築年月	平成 20 年 3 月 (平成 26 年 3 月アレルギー室等増築)	平成 26 年 7 月
給食実施	平成 20 年 9 月から	平成 26 年 9 月から
建物構造	鉄骨造 2 階建	鉄骨造 2 階建 (地下機械室あり)
敷地面積	6,000 m ²	8,225.95 m ²
延床面積	2,880 m ² (うち増築部分 248 m ²)	3,490.06 m ²
提 供 校	小学校 13 校、中学校 4 校	小学校 14 校、中学校 4 校
調理能力	6,000 食	5,500 食
副食食数	1 日あたり約 4,100 食	1 日あたり約 3,700 食
調理委託	日本国民食(株)	(株)東洋食品
配送委託	岡山県貨物運送(株)	岡山県貨物運送(株)



津山市立戸島学校食育センター



津山市立草加部学校食育センター

(2) 受配校の変遷

	津山市立戸島学校食育センター(戸島 C)	津山市立草加部学校食育センター(草加部 C)
平成 20 年 9 月～ ・ 戸島 C 稼働 ・ 旧市内中学校 給食開始	東小、西小、北小、鶴山小、弥生小、一宮小、高田小 (7 小学校) 津山東中、中道中、北陵中、鶴山中、津山西中 (5 中学校)	
平成 26 年 9 月～ ・ 草加部 C 稼働 ・ 受配校再編	東小、西小、南小、北小、弥生小、向陽小、院庄小、佐良山小、一宮小、喬松小、中正小、誠道小、秀実小 (13 小学校) 北陵中、鶴山中、津山西中、久米中 (4 中学校)	林田小、鶴山小、高田小、清泉小、高倉小、高野小、成名小、河辺小、大崎小、広野小、加茂小、新野小、広戸小、勝加茂小 (14 小学校) 津山東中、中道中、加茂中、勝北中 (4 中学校) 加茂幼稚園
平成 31 年 4 月～ 加茂幼稚園閉園	13 小学校、4 中学校(同上)	14 小学校、4 中学校(同上)

(3) 食数の変遷

	津山市立戸島学校食育センター	津山市立草加部学校食育センター	
平成 20 年 9 月	小学校 7 校、中学校 5 校	約 5,800 食	
平成 21 年 4 月			約 5,650 食
平成 22 年 4 月			約 5,650 食
平成 23 年 4 月			約 5,600 食
平成 24 年 4 月			約 5,550 食
平成 25 年 4 月			約 5,550 食
平成 26 年 4 月			約 5,500 食
平成 26 年 9 月	小学校 13 校、中学校 4 校	小学校 14 校、中学校 4 校、1 園	約 4,750 食
平成 27 年 4 月			約 4,725 食
平成 28 年 4 月			約 4,700 食
平成 29 年 4 月			約 4,600 食
平成 30 年 4 月			約 4,500 食
平成 31 年 4 月		小学校 14 校、中学校 4 校	約 4,350 食
令和 2 年 4 月			約 4,250 食
令和 3 年 4 月			約 4,200 食
令和 4 年 4 月			約 4,100 食
令和 5 年 4 月			約 4,000 食
令和 6 年 4 月	約 4,000 食		
令和 7 年 4 月	約 3,850 食		
令和 8 年 4 月	約 3,700 食		

(4) 献立作成

■ 献立作成委員会の開催(年 2 回)

構成: 校長、PTA(保護者)代表、給食・食育担当教諭、給食支援員、所長、栄養教諭等

■ 主食について

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
津山市立戸島学校 食育センター	小学校	米飯	米飯	めん類	パン	米飯
	中学校	米飯	米飯	米飯	パン	めん類
津山市立草加部学 校食育センター	小学校	パン	めん類	米飯	米飯	米飯
	中学校	パン	米飯	米飯	米飯	めん類

■ 地場産物・旬の食材の活用

「津山・岡山食べよう day^{でえ}(月 1 回)、「おかやま地産地消週間(6 月・11 月)」

■ 行事食・郷土料理を取り入れる

「日本よいとこ味めぐり献立(月 1 回)」

■ リクエスト給食・セレクト給食の実施

残食減少に取り組んだクラスが目標達成できたら献立をリクエスト

■ 児童(小学校 6 年生)、生徒(中学校 2 年生)が家庭科の授業で考えた献立を採用

■ レッツチャレンジクッキング応募レシピを採用

■図書コラボ給食の実施

■からだ想い減塩献立の実施

■有機農業の日献立の実施

(5) 学校給食摂取基準(児童または生徒一人一回当たり)

(令和8年度)

区分	単位	小学校 児童(8~9歳)	中学校 生徒(12~14歳)
エネルギー	kcal	650	830
たんぱく質	g	28(摂取エネルギー全体の13~20%)	34(摂取エネルギー全体の13~20%)
脂質	g	20(摂取エネルギー全体の20~30%)	24(摂取エネルギー全体の20~30%)
カルシウム	mg	350	450
マグネシウム	mg	50	120
鉄	mg	3	4.5
亜鉛	mg	2	3
ビタミンA	μ gRAE	200	300
ビタミンB1	mg	0.4	0.5
ビタミンB2	mg	0.4	0.6
ビタミンC	mg	20	35
食塩相当量	g	2未満	2.5未満
食物繊維	g	4.5以上	7以上

(6) 地産地消推進

■主食(米飯 週3回、パン 週1回、麺 週1回)

米：津山産(きぬむすめ) 麦ごはんの麦：岡山県産 ココロ米(巨大胚芽米)：津山産

パン：岡山県産米粉20%配合

中華麺・ソフト麺・うどん：令和5年度2学期～津山産小麦(ふくほのか、せときらら)使用

令和7年度～津山産小麦(せときらら)使用

■牛乳：岡山県産

■副食

食材選定：年1回物資選定委員会(校長、PTA(保護者)代表、所長、栄養教諭等)

優先順位 津山産→岡山県産→国内産→外国産

主な津山産：キャベツ・大根・青ねぎ・玉ねぎ・白菜・チンゲン菜・かぶ・ほうれん草

小松菜・きゅうり・なす・白ねぎ・アスパラガス・ジャンボピーマン・紫たまねぎ

ピオーネ・新高梨のシロップ漬け

契約栽培野菜：地元生産者と晴れの国岡山農業協同組合(H27～)

■年間地場産率

・品目ベース ※目標値：岡山県産 40%、津山産 20%

単位:%

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
岡山県産	34.3	37.3	31.2	33.8	34.4	35.2	34.7	36.4	35.3
津山産	12.1	13.9	11.0	12.1	14.5	14.8	14.9	17.4	14.5
	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7
岡山県産	35.0	36.6	38.4	37.5	37.4	40.0	41.0	39.7	40.0
津山産	14.2	16.4	17.8	15.8	16.2	18.3	18.7	16.8	15.6

・重量ベース ※目標値：津山産 30%

単位:%

	R2	R3	R4	R5	R6	R7
岡山県産	39.5	41.8	41.4	46.4	46.7	45.3
津山産	23.5	23.7	23.6	29.5	28.6	28.1

(7) 食物アレルギー対応

- アレルギーのある児童生徒が、安全で楽しい給食時間を送ることができるよう医師の診断に基づき「除去食」を提供
- 平成 29 年度～ 「学校給食における食物アレルギー対応指針（文部科学省）」に基づいて、原因食品の完全除去対応を実施
- 対象食品：卵類、牛乳・乳製品、小麦、大豆、えび、ピーナッツ、ごま、木の実類
- 除去食対応人数：小学生 127 名、中学生 35 名 計 162 名（令和 8 年 5 月現在）

(8) 学校等における食育の指導

- 学校給食を生きた教材として活用した食育の推進
- 栄養教諭等による学校での食育授業、給食指導
- 学校への食に関する情報提供（食育関連資料、食育動画等）
- 保護者へ「給食だより」等の配布、試食会等での啓発活動
- 学校食育センター見学会等の開催

(9) 衛生管理の徹底

- 「学校給食衛生管理基準（文部科学省）」等に基づいた衛生管理の徹底
- 異物混入防止：食材の確認、調理機器の定期点検及び使用前中後の点検
- 食材の定期検査：一般生菌、大腸菌群、黄色ブドウ球菌、油脂の酸化等の検査
- 衛生管理研究会の実施：衛生管理研究、ふき取り検査等

(10) 学校給食残食減少の取組

■津山市学校給食残食減少検討会議の設置

- ・給食の残食と児童生徒の学校生活の関連性に着目し、また食品ロスや食育推進の観点から令和元年度に津山市学校給食残食減少検討会議を設置

■令和2年度から津山市学校給食残食減少行動計画に基づき各小中学校、学校食育センター教育委員会で行動計画を作成し取組を推進

■学校給食残食率

- ・給食の残食率

単位:%

	目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
小学生	4.0	4.7	4.5	5.6	4.8	5.1	5.1
中学生	12.0	15.7	15.7	17.9	14.6	13.0	12.8

- ・牛乳の残量率

単位:%

	目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
小学生	1.0	2.9	1.5	1.1	0.5	3.8	2.8
中学生	15.0	21.1	19.9	27.9	12.0	5.5	9.5

(11) 調理業務委託

■委託業者との定期的な打ち合わせ、研修実施の確認等

■委託業者

	業者名	委託期間
津山市立戸島学校 食育センター	(株)東洋食品	H20.9.1~H24.7.31
	シダックス大新東ヒューマンサービス(株)	H24.8.1~H29.7.31
	日本国民食(株)	H29.8.1~R4.7.31
	日本国民食(株)	R4.8.1~R9.7.31
津山市立草加部 学校食育センター	(株)東洋食品	H26.8.1~H30.7.31
	(株)東洋食品	H30.8.1~R5.7.31
	(株)東洋食品	R5.8.1~R10.7.31

(12) 配送業務委託

■委託業者

	業者名	委託期間
津山市立戸島学校食育センター	岡山県貨物運送(株)	H20.9.1~H25.3.31
	岡山県貨物運送(株)	H25.4.1~H30.3.31
	岡山県貨物運送(株)	H30.4.1~R5.3.31
	岡山県貨物運送(株)	R5.4.1~R6.3.31
	岡山県貨物運送(株)	R6.4.1~R11.3.31
津山市立草加部学校食育センター	岡山県貨物運送(株)	H26.8.1~H31.3.31
	岡山県貨物運送(株)	H31.4.1~R6.3.31
	岡山県貨物運送(株)	R6.4.1~R11.3.31

4. 学校給食の経費

○令和8年度

単位:円

区分	主食	牛乳	副食	給食単価	公費負担	給食費(保護者)
小学生	61	75	204	340	340	0
中学生	73	75	247	395	70	325

※ 教職員分は公費負担がないため、給食単価＝給食費となる

※令和8年4月から、国・県による、小学校段階での学校給食費の抜本的な負担軽減(いわゆる給食無償化)実施

○学校給食費(給食単価)の変遷

単位:円

区分	H20～23	H24～27	H28～30	R1～2	R3	R4	R5.～5月	R5.6月～	R6	R7
小学生	255		265					282	295	310
中学生	285	290	305					322	340	360
消費税	5%	8% (H26～)		10%* (R1.10月～)						
燃料費公費負担	なし				50%	86.5%		100%		
公費負担	小学生	なし						17	30	
	中学生	なし						17	35	

区分	R8	
小学生	340	
中学生	395	
消費税	10%*	
燃料費公費負担	100%	
公費負担	小学生	340
	中学生	70

*食材は軽減税率

※令和8年4月から、国・県による、小学校段階での学校給食費の抜本的な負担軽減(いわゆる給食無償化)実施